



基本理念

患者さんと地域に信頼される、質の高い整形外科医療を行います。
患者さんの権利を尊重し、ともに歩む医療を行います。
やさしさと思いやりにあふれた医療サービスに努めます。



患者さんの権利

人格が尊重され、プライバシーが守られる権利
より適切な医療を平等に受けられる権利
病気と診療内容、医療費などについて十分に知る権利
診療内容や治療機関などを選択し、決定する権利

新任の医師のご紹介



川又 朋麿（整形外科部長）

TOMOMARO KAWAMATA

平成3年、東北大卒。いわき市立総合磐城共立病院、東京通信病院で研修を行いました。平成7年から10年間大学病院に勤務し、膝の変形や前十字靱帯損傷などの膝関節疾患を専門に治療を行い、またラグビー部のチームドクターをしておりました。老若男女を問わず患者さんが納得され、制限がない楽しい生活が送れるように、安全かつ最小限の侵襲で治療を行いたいと思います。



千葉 武志（整形外科部長）

TAKESHI CHIBA

平成4年、東北大卒。由利組合総合病院、石巻赤十字病院で研修を積み、東北大学附属病院、いわき市立総合磐城共立病院を経て、平成17年9月から当院に勤務しております。股関節、膝関節を中心に診療にあたっております。分かり易い説明を心がけておりますが、疑問に思われるご質問ございましたら、気兼ねなくご質問下さい。



主な内容

病院スタッフのご紹介

当院における個人情報の取扱いについて

クレジットカードの取扱いについて

共に歩むスタッフたち



第3病棟



仙台整形外科病院第3病棟は、師長 門脇りえこ、主任 伊東 祐子、熊谷 政子、他16名の看護師と4名の看護助手が勤務しています。

病床数は、61床（特別室1床、個室4床）で看護体制（方式）は、固定チームナーシング（東側のチームはAチーム。西側のチームは、Bチーム）でみなさまの入院生活のお世話をさせていただいている。

今年度の病棟裏目標は、「スタッフ全員ブラインドタッチができるようになる」です。

昨年の病棟忘年会で師長が勝手に言ったようですが・・・院長先生の前で。

師長より早く打てるようになったスタッフ3名まで賞金が出ること（裏情報）。

日々密かに練習しているスタッフがいるようです。“楽しくなければ仕事じゃない”をモットーに毎日、ナースのお仕事を頑張っています。

素敵な特徴をもうひとつ、お花の大好きなスタッフがいてナースセンター東西の廊下カウンターで四季折々の花が楽しめます。



第4病棟



仙台整形外科第4病棟は、師長 千葉 千恵子、主任 大友 敦子、梅本かつえ、他15名の看護師と4名の看護助手が勤務しています。

病床数は64床（個室4床）で、東西に分かれています。当病棟では脊椎疾患、膝疾患、外傷の患者さんが多く入院中ですが、私たちスタッフは患者さんが安心して、快適な入院生活を送れるようサポートさせていただいております。

私たちの病棟は、当院の中でも特に、明るく元気な東北各地の美人がそろっており、毎日笑

い声が絶えません。お母さんナースの煮物や漬物でランチタイムも充実しています。

入院、手術が多く忙しいときもなんのその。チームワークを発揮しみんなパワフルに楽しく仕事をこなしています。おじいちゃん、おばあちゃんとも仲良くやっています。

そんなステキな第4病棟に来てみてけさい～ん。



第5病棟

仙台整形外科病院第5病棟は、師長 穴井 邦子、主任 鳴原 ひろみ、千葉 幸子、他15名の看護師と5名の看護助手が勤務しています。

病床数は66床（個室2床）で、東西に分かれています。私たちスタッフはいろいろな目標を掲げ、患者さんが安心して、入院生活ができるように、日夜努めています。

第5病棟の特徴は、なんと言ってもその「眺望の素晴らしさ」にあります。西からは-蔵王連峰-、東からは-金華山-を臨むことができます。また、夏には各地の花火大会、お正月には太平洋から昇る初日の出を見ることができます。

私達スタッフは、全国各地から集まり、美人揃いの20代から50代で構成しており、眺望の素晴らしさに負けないように、チームワークで頑張っています。

病棟では、明るい笑顔と楽しい会話で皆さんをお待ちしています。



中央材料室・中央手術室

中央材料部・中央手術室は、看護師8名、看護助手2名のスタッフがおります。

手術だけではなく、各病棟で使用した器材を滅菌する作業などもあります。

手術を受けられる患者さんは、不安や恐怖心などがあると思います。その不安等を少しでも軽減できるよう毎日つとめています。

いつも明るく楽しい手術室ですが、今年から男性の看護師も加わり、さらにパワフルになりました。



共に歩むスタッフたち



理学療法室



私たちの理学療法室には理学療法士が5名、理学療法助手が2名配置されています。現在1日約75名の入院患者さんと約10名の外来患者さんに理学療法を提供しています。（患者さんには「リハビリ」と呼ばれていますが、理学療法は本来リハビリテーションの一分野を担っているものであり、リハビリテーションそのものではありません。）

さて当院理学療法の最大の目的は、患者さんの運動機能をできる限り引き出すことになります。

この目的を達成するためには、「関節が十分に動かない」とか「筋肉の力が十分に発揮できない」とか、さらには「滑らかに運動ができない」ということが問題になってきます。これらの問題が出現してくる最大の原因が「痛み」であると私たちは考えています。したがって、理学療法室ではこの痛みを最小限に、できれば消失させるんだという気持ちでがんばっています。患者さんの訴えに耳を傾けたり、関節を動かしてみたり、筋肉に触れたり、患者さんの動作を観察したりすることから情報を集め、患者さんそれぞれの状態にあった理学療法（温熱療法・電気治療・プール内運動そして徒手療法など）を提供できることを心掛けています。



給食部門



給食部門では管理栄養士1名・栄養士1名・調理師7名・調理員5名で患者さんに安全でおいしい食事を提供できるよう日々努力しております。

患者さんの入院時には病室訪問をし、食物アレルギーや今までの食生活についてチェックを行い、病院の食事について説明しております。

食欲のない方については医師と相談し、患者さん個々の病態・摂取状況・嗜好等の細かい情報を得ながら、別メニューにて提供できるよう努めております。

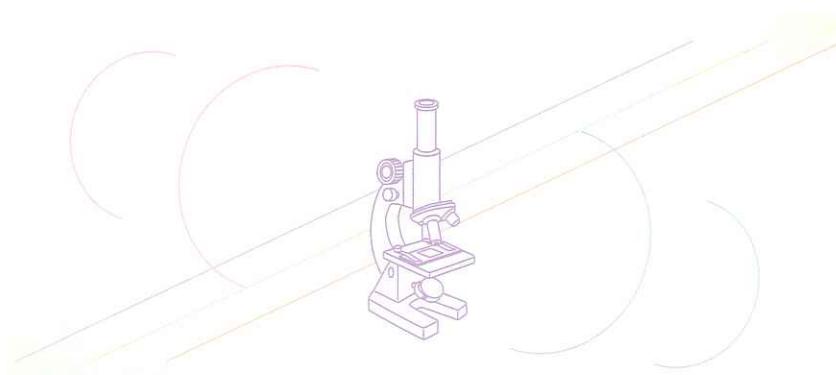
8週間（56日）サイクルメニューを基本として、毎週水・木・金曜日は選択メニューの日、土曜日の朝食はパンの日となっております。行事食は年19回実施しており毎月行事食が入っております。

整形外科単科の病院ですので、カルシウムは800mg/日、鉄は13mg/日以上は摂取できるような献立となっております。



臨床検査室

検査室は2名の臨床検査技師が担当しております。
生化学、血液検査、血清学的検査、一般検査、血液ガス分析、心電図、肺機能検査等を行っております。
私達は患者さんが入院されて心電図、肺機能検査をする時ぐらいしかお会いいたしませんが、日々検査データを迅速かつ正確にご報告することに努めております。



看護部長室

看護部長室は2階エレベーターを降りた右側の突き当たりで、目立たない所にあります。

開院当初24名の看護部職員も、現在90名で職員数としては院内最多の部署になります。

看護部職員の採用、配置、健康管理、各部署の管理・統括、会議の開催・出席など、事務的な仕事が主です。

16年間病棟勤務をしておりましたので、患者さんと触れ合う機会が少なくなり、とても淋しく感じます。

平成15年、「看護部理念」ができました。『やさしさと思いやりにあふれた看護を行い、よりよいケアを提供します』看護を行うためには本当に当たり前のことなのですが、この当たり前のことが一番難しいのです。『理念』が単なるスローガンで終わらないよう常に心にとめながら、看護と向き合っていかなければ良い看護はできません。

看護部長としての役割は、患者さんが安心して通院・入院でき、看護職員が楽しく仕事ができるようにサポートすることだと思います。

「苦情・相談窓口」そして「直ぐやる課」でなければならないと常に思っています。

たまには看護部長室をのぞいて見て下さい。大歓迎です。





事務部長室



本院の基本理念の一つに「患者さんと地域に信頼される、質の高い整形外科医療を行います」を掲げておりますが、実践するためには、職員一人ひとりの努力はもとより、その環境が大切であると私は思っております。

厳しい医療情勢の中、病院として取り組むべき課題は山積しておりますが、その中で最も重要なのは安定した経営がなければならないと考えます。そのためには、はつきりとした「経営理念に基づく経営指針」が必要と思います。

本院では、現在一般病床 191 床で運営しておりますが 2006 年度診療報酬改定の内容等も見ながら、患者さんはじめ、地域の皆様方のご意見を尊重して、将来を踏まえた本院のあるべき指針を決めたいと考えております。

勿論、基本理念の実践と、働きやすい職場環境作りも努力してまいります。どうぞご支援よろしくお願ひいたします。



事務部



私たち事務部は、前回ご紹介した受付窓口職員のほかに、入院時の説明や会計を行う入院係、院内の必要物品を手配する担当と経理事務担当そして当院職員向けの事務を行う職員で構成されています。

この中で実際に患者さんと接する機会が多いのはもちろん受付窓口職員と入院係ですが、当院にかかる電話はすべて事務部門職員が受けておりますので、事務部職員と患者さんとは、「声」を通じて接しているともいえるでしょう。

電話はお互いの顔が見えないコミュニケーションですから、私たちは常に明るく感じの良い対応と的確な回答を心掛けて毎日の業務にあたっております。

また外来休診日や夜間は私たちが日直、宿直業務を交替で、面会の方へのご案内や入院患者さんへの電話取り次ぎ業務などを行っておりまますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



当院における個人情報の取扱いについて

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用及び提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人(患者さん)等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守します。

5. 教育及び継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育、研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 問い合わせ窓口

個人情報に関するお問い合わせは、当院2F医療相談室までお願いします。



クレジットカードの取扱いについて

※ カードによるお支払いは、入院及び外来についての診療費が対象となります。

入院付き添い時の駐車料金や松葉杖の貸与料等につきましては、現金にてお支払いいただきますようお願いします。

※ 利用できるカードは下記のとおりです。

1. JCB・アメリカンエクスプレス・VISA・MasterCardのクレジットカード

もしくはそれらのブランドが付与されているクレジットカード

2. 銀行・郵便局のキャッシュカード (J-Debitカードサービス)



※ お支払い回数について

一括払い、分割払い、リボルビング払い、のいずれかから選択できます。

2回払い、ボーナス一括払いについてのお取扱いはできません。

また、ギフトカード等のご利用もお受けできませんのでご了承下さい。

ご不明な点などございましたら、会計窓口までお問い合わせ下さい。



一年間ごくろうさまでした

平成17年9月から杉田健彦先生は、本間記念東北整形外科(泉区)、魚住弘明先生は、石巻赤十字病院(石巻市)に異動されました。



お車をご利用の方

仙台市中心部からお越しの方

- ① 六丁の目交差点を過ぎてから2つ目の歩道橋を右折
- ② 右折してから1つ目の信号の右側が当院

仙台東ICからお越しの方

- ① 料金所を出て最初の信号を左折
- ② 左折してから3つ目の信号を左折
- ③ 左折してから1つ目の信号の右側が当院



仙台市営バスをご利用の方

仙台駅西口バスターミナル → 約20分 → 六丁の目南町停留所

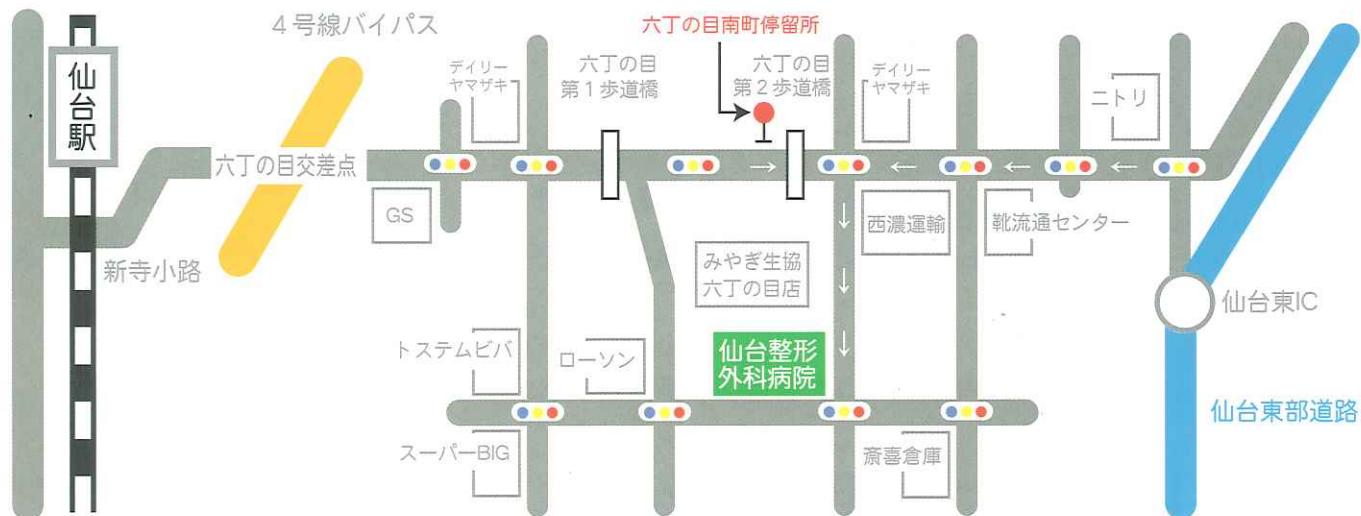
4番乗り場 新浜・岡田車庫行、賀茂皇神社行、キリンビール行
6番乗り場 六丁の目東町行 (若林区役所経由)

六丁の目南町停留所にて下車後、六丁の目第2歩道橋を
わたり南約200m (徒歩5分)

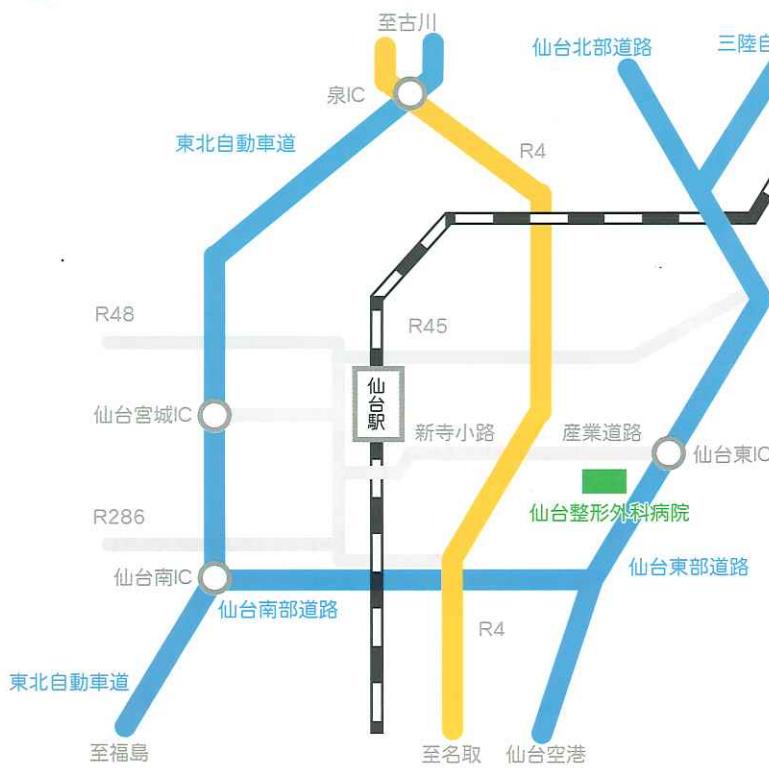
仙台市営バス総合案内 TEL 022-222-2256



周辺地図



広域地図



仙台整形外科病院 広報誌 仙台整形だより

発行元 仙台整形外科病院 広報誌委員会
(発行日 平成17年10月)
〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通24番地
TEL 022-288-8900 (代表)
FAX 022-288-8994
URL <http://www.sendaiseikei.or.jp>